

2017年度 フットサル審判3級昇級競技規則テスト

氏名： _____

1. 次の文章の（ ）に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。(1点×20)

【第1条：ピッチ】

国際試合以外の試合の場合の大きさは、次のとおり。

長さ（タッチライン）：最小（ **25 m** ） 最大（ **42 m** ）

幅（ゴールライン）：最小（ **16 m** ） 最大（ **25m** ）

【第2条：ボール】

●外周は、（ **64 cm** ）以下、（ **62 cm** ）以上

●重さは、試合開始時に（ **440 g** ）以下、（ **400 g** ）以上

●空気圧は、海面の高さの気圧で、（ **0.6** ）～（ **0.9** ）気圧（600～900g/c m³）

【第3条：競技者の数】

試合は、5人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。チームの競技者のうち1人は（ **ゴールキーパー** ）である。

どちらかのチームの競技者が（ **3人未満** ）の場合、試合は開始されない。

片方のチームのピッチ上の競技者が（ **3人未満** ）になった場合、試合は放棄される。

【第6条：副審】

第3審判は、

●主審・第2審判および（ **タイムキーパー** ）を援助する。

●試合に参加する競技者の（ **記録** ）を取る。

●チームの役員から（ **タイムアウト** ）の要求あったとき、タイムキーパーに（ **タイムアウト** ）を知らせる。

●タイムキーパーが（ **音** ）でタイムアウトの合図をしたとき、（ **所定のシグナル** ）で主審・第2審判および両チームにタイムアウトが与えられたことを知らせる。

●前後半それぞれにおいて、一方のチームが5つ目の累積ファウルを犯したときに、（ **所定のシグナル** ）を示す。

2. 直接フリーキックで罰せられるファウルについて、次の文章を完成させなさい。

(2点×10)

競技者が次の7項目の反則を不用意に、無謀に、または過剰な力で犯したと主審・第2審判が判断した場合、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- 相手競技者を（ **ける、またはけろうとする** ）。
- 相手競技者を（ **つまずかせる** ）。
- 相手競技者に（ **飛びかかる** ）。
- 相手競技者を（ **チャージする** ）。
- 相手競技者を（ **打つ、または打とうとする** ）。
- 相手競技者を（ **押す** ）。
- 相手競技者に（ **タックルする** ）。

次の3項目の反則を犯した場合も、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- 相手競技者を（ **押さえる** ）。
- 相手競技者に（ **つばを吐く** ）。
- ボールを意図的に（ **手、または腕で扱う** ）
(ゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内にあるボールを扱う場合を除く)。

3. 警告となる反則について、次の文章を完成させなさい。(2点×5)

競技者は、次の7項目の反則を犯した場合、警告される。

- （ **反スポーツ的行為** ）
- 言葉、または行動による（ **異議** ）
- （ **繰り返し** ）フットサル競技規則に違反する
- プレーの再開を遅らせる
- コーナーキック、フリーキックまたはキックインでプレーが再開される時、
（ **規定の距離** ）を守らない（守備側競技者）
- 主審・第2審判の承認を得ずピッチに入る、復帰する、または
（ **交代の進め方** ）に違反する
- 主審・第2審判の承認を得ず意図的にピッチから離れる

4. 退場となる反則について、次の文章を完成させなさい。(2点×5)

競技者、または交代要員は、次の7項目の反則を犯した場合、退場を命じられる。

- (著しく不正) なファウルプレー
- (乱暴) な行為。
- 相手競技者、またはその他の者に (つばを吐く)
- 意図的にボールを手、または腕で扱い、相手チームの得点、または (決定的な得点の機会) を阻止する
- フリーキック、またはペナルティーキックとなる反則で、ゴールに向かっている相手競技者の (決定的な得点の機会) を阻止する
- 攻撃的な、侮辱的な、または下品な発言や身振りをする
- 同じ試合の中で二つ目の警告を受ける

5. 次の文章について、正しいものには○を、間違っているものには×を記入しなさい。

(4点×5)

① Aチームの競技者がキックインを行い、他の競技者がボールに触れる前にキックインを行った競技者が再びボールに触れたので、相手チームに間接フリーキックを与えた。

○

② Bチームの競技者がキックインを行ったが、ボールがピッチ内に入らなかったため、Bチームの競技者にキックインのやり直しをさせた。

×

③ ボールがインプレー中、Aチームからタイムアウトの要求があり、すぐにBチームからもタイムアウトの要求があった。その後、Aチームがけたボールがタッチラインから出たが、先にAチームがタイムアウトを要求していたため、そのままBチームのキックインで再開した。

×

④ ゴールに向かってシュートが打たれた後、試合終了のブザーが鳴り、ボールが味方競技者に当たってゴールに入ったので得点を認めた。

×

⑤ テクニカルエリアにおける戦術的指示ができるのは、その都度ただ一人のチーム役員のみである。

○

6. 次の状況について、正しい再開方法を記入しなさい。(4点×5)

【解答例】 問題) ゴールクリアランスが4秒以内に行われなかった。

答え) 相手チームのコーナーキックで再開

①キックオフされたボールが誰にも触れず、直接相手チームのゴールに入った。

相手チームのゴールクリアランスで再開

②味方競技者によってキックインされたボールを、自分のペナルティーエリア内にいるゴールキーパーが直接手で取った。

相手チームの間接フリーキックで再開

③ゴールクリアランスが行われ、ボールがインプレーになったのち、ゴールキーパーがペナルティーエリア外でボールに手で触れた。

相手チームの直接フリーキックで再開

④ペナルティーキックを行う競技者が、ボールを前方にけらなかった。

相手チームの間接フリーキックで再開

⑤ボールがインプレー中、Aチームの交代要員が交代ゾーン以外のところからピッチに入ったためプレーを停止し、交代要員を警告した。

相手チームの間接フリーキックで再開